

平成 27 年度 AOTULE 加盟大学との教育研究連携助成 採択者

〔研究者〕	
	氏名 江頭 竜一（えがしら りゅういち） 所属 国際開発工学 職名 准教授
〔タイトル〕	
国際開発工学を通じた AOTULE 加盟大学との学生交流	
〔背景〕	
<p>国際開発工学科の「国際開発工学コロキウム」という授業科目は、学生をグループ分けし、そのグループごとに国際的な模擬プロジェクトを遂行、この結果の発表、討論、等を通して、個々の工学分野の統合、応用を体得させ、これらの重要性を認識させるものであり、アクティブ・ラーニング方式で開講されている。この授業科目は、平成 9 年以來 20 年近く開講しており(当初の科目名は「開発システム工学コロキウム」)、アクティブ・ラーニング科目の先駆である。この科目において学生自身で遂行した模擬プロジェクトに関して他国の学生とも討論する機会を設けるべく、最も評価の高かったグループの学生を本助成金等を利用して AOTULE 学生会議に派遣している。派遣した学生にとって貴重な経験となる上に、模擬プロジェクトに関する他国の学生からの様々な意見の収集、全受講学生の AOTULE 学生会議派遣への意欲を発奮材料とした授業そのものの活性化、AOTULE 学生会議を通じた学生交流の活発化、など多くの成果が得られている。</p>	
〔目的〕	
<p>上記のように「国際開発工学コロキウム」の受講生の中から優秀な数名をシンガポール・南洋理工大学において開催の AOTULE 学生会議に派遣し、模擬プロジェクトの内容について発表、討論させるだけでなく、他の学生の研究発表における討論や同時に開催されるイベント活動を通して「国際開発工学」をキーワードとした交流を経験させる。</p>	
〔実施計画概要〕	
<p>上記「国際開発工学コロキウム」において、評価の高かったグループの学生のうちの 2 名を AOTULE 学生会議に派遣する。本年度の AOTULE 学生会議は、11 月 1~3 日にシンガポール・南洋理工大学で開催される。この間、学生会議の発表講演がない期間も南洋理工大学内の見学ツアー、学生交流プログラムなどの活動に参加する。学生の引率には申請者が 1 名で当たる。また、申請者は、他の AOTULE メンバー大学の教員と、AOTULE 学生会議の際の本学科の本渡航プログラムについて情報・意見交換し、今後の本プログラムの拡充について探る。</p>	